

2019 年度 第 4 回 11 月 有名大本番レベル模試地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

4 設問別加点要素

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「②(①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

1

- 問1 2点 ④
問2 各2点×2 新幹線、高速道路 (順不同)
(※「山陽新幹線」「首都高速」など、地域限定の場合 →各1点加点とする)
問3 2点 ①
問4 3点 ②
問5 2点 ③
問6 2点 ①
問7 2点 ③
問8 3点 プラスチック／プラスチック
問9 3点 センターピボット／センターピボット方式
問10 2点 ①

2

- 問1(1) 各1点×3 (あ)：とうもろこし (い)：米 (う)：小麦
問1(2) 3点 ③
問1(3) 各1点×5
P：中国 Q：インド R：ロシア S：アメリカ合衆国／アメリカ T：ブラジル
問2 3点 キャッサバ／マニオク
問3 2点 ④
問4 2点 ④

- 問5(1) 各1点×2 A：中国 E：ペルー
問5(2) 2点 ②
問5(3) 3点

養殖池の造成に伴うマングローブ林の破壊

【加点ポイント】

- ① マングローブ林／マングローブ の破壊 →2点
- ② (①の背景として) 養殖池の造成 →1点

3

問1 各2点×5

- 1 : モータリゼーション 2 : 安価／安い運賃／低コスト など
3 : 情報化／情報 4 : 海底ケーブル 5 : 情報格差／デジタルデバイド

問2 2点 ウ

問3 2点 ①

問4 3点

格安航空会社の輸送量が多くなったため。

【加点ポイント】

- ①「格安航空会社／LCC」について指摘していれば →3点

問5 2点 A

問6 2点 エ

問7 各2点×2 エチオピア : D ロシア : A

4

問1 各2点 (完答) ×5

- ① : b, d ② : b, d ③ : b, c ④ : a, d ⑤ a, d

問2 3点

地球温暖化によって海面が上昇したため。

【加点ポイント】

- ① 海面の上昇／海水位の上昇 →2点
② (①の要因として) 地球温暖化／温暖化 →1点

問3 各2点×4

- ① : アボリジニ／アボリジニー／アボリジン ② : 白豪主義／白濠主義
③ : マオリ／マオリ族 ④ : ワーキングホリデー

問4 各2点×2 オーストラリア : カ ニューージーランド : ケ